

『ユニオンファンド』

第2期 運用報告書 (決算日 2010年9月30日)

〔 2009年10月1日から
2010年9月30日まで 〕

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式 ファンド・オブ・ファンズ
信託期間	原則として無期限
運用方針	個人家計の「資産形成」を支援する目的で、 「期待収益率が高い」と思われる資産に積極 投資をします。
主要運用対象	国内外の株式を投資対象とする投資信託証 券を投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券への投資割合には制限を 設けません。 ②同一銘柄の投資信託証券への投資は、 原則として信託財産の純資産総額の50% 未満とします。 ③外貨建資産への投資には制限を設けま せん。 ④株式への直接投資は行いません。 ⑤デリバティブの直接利用は行いません。
分配方針	毎決算時、収益分配方針に基づいて分配 を行います。分配金額は、委託会社が基準 価額水準、市況動向等を勘案し決定しま す。ただし、委託会社の判断により分配を行 わないことがあります。

受益者のみなさまへ…

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております『ユニオン
ファンド』は、2010年9月30日に第2期の決
算を行いました。ここに期中の運用状況をご報
告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお
願い申し上げます。

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

ユニオン投信株式会社
業務管理部/コンプライアンス室
TEL : 0263-38-0725

受付時間：営業日の午前9時～午後5時
ホームページ：<http://www.unionam.co.jp/>



Union Asset Management Inc.
ユニオン投信株式会社

〒390-0815
長野県松本市深志一丁目1番21号
中田歯科ビル5F

■設定以来の運用実績

決 算 期	基準価額 (分配落)	税 込	期 中	投資証券・ 投資信託証券 組入比率	純資産 総 額
		分配金	騰落率		
(設 定 日)	円	円	%	%	百万円
2008年10月20日	10,000	—	—	—	108
1期 (2009年9月30日)	12,567	—	25.7	93.5	480
2期 (2010年9月30日)	13,160	—	4.7	97.0	865

(注1) 基準価額は1万口当たり。騰落率は前期末比。

(注2) 当ファンドの運用方針に適切なベンチマーク (参考指数) が存在しないため、上記には市況を併記してありません。

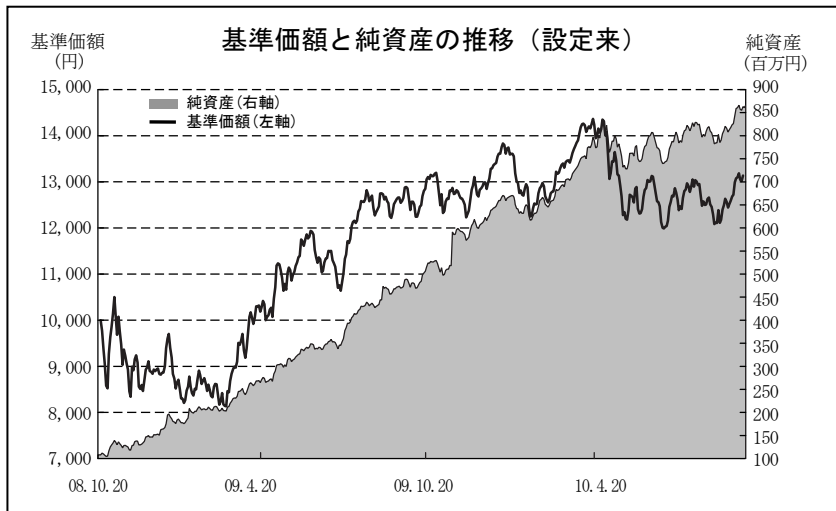
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		投資証券・ 投資信託証券 組入比率	純資産総額
	騰 落 率			
(期 首)	円	%	%	百万円
2009年 9月30日	12,567	—	93.5	480
10月末	12,492	△0.6	92.5	504
11月末	12,230	△2.7	87.7	572
12月末	13,386	6.5	96.2	644
2010年 1月末	12,812	1.9	93.1	635
2月末	12,614	0.4	94.2	648
3月末	13,846	10.2	92.5	730
4月末	14,006	11.5	88.3	808
5月末	12,720	1.2	97.6	761
6月末	12,471	△0.8	97.5	767
7月末	12,910	2.7	98.0	818
8月末	12,384	△1.5	98.3	802
(期 末)				
2010年 9月30日	13,160	4.7	97.0	865

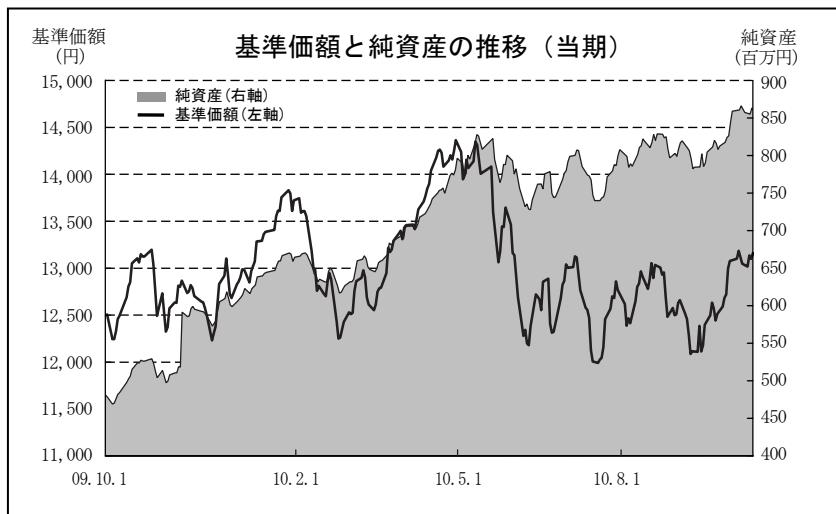
(注1) 基準価額は1万口当たり。騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドの運用方針に適切なベンチマーク (参考指数) が存在しないため、上記には市況を併記してありません。

■設定来の運用状況



■当期の運用状況



■ファンドの基本運用方針

当ファンドは個人家計の「資産形成」を支援することを主たる目的としており、長期投資の観点から以下の方針により「期待収益率が高い」と思われる資産に積極投資します。

- ① 「株式」に特化します。
 - ・長期投資では「株式」が債券を上回るパフォーマンスをあげており、今後も長期的には「株式」の収益率が債券収益率を凌駕するものと考えます。
- ② 「グローバル」な視点で投資します。
 - ・「グローバル」に投資することで、世界の経済成長を享受することができると考えます。
- ③ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します。
 - ・長期間にわたりインデックスを上回る「アクティブ」ファンドが少数ですが世界に点在します。
 - ・投資に当っては、「長期投資」の考え方が確立・実践されており、相対的パフォーマンスが良好なファンドを厳選します。
- ④ 「バイ&ホールド」を基本としますが、割高時には現金比率を高め、割安時での買い増しにも備えます。

■当期の運用環境

- ① **2009年10月～2010年4月**：2008年のリーマン・ショック以降、世界的に同時・巨額の財政・金融政策が発動され、先進国・新興国の景気回復が実現。株価は企業業績好転を受け上昇。特に3月・4月には2010年度企業業績への期待が膨らみ、株価は当期中の高値圏に。
- ② **2010年5月～2010年9月**：「財政刺激策の息切れ」懸念などから世界的な景気後退が始まるのでは？ という観測が強まり、5月以降は一転して下落基調に。米国：雇用問題、欧州：金融・財政問題、日本：円高・デフレ問題、中国：不動産投機抑制問題などから世界の成長率予測は下方修正へ。その後8月以降は世界的な金融緩和政策を受け、債券市場が急騰（金利は急低下）。過剰流動性資金の一部が株式市場に流入して9月は株高に。

■当期の運用状況

当期は4.7%の運用実績となりました。

東京市場やNY市場に比べて相対優位な実績を上げることが出来ました。

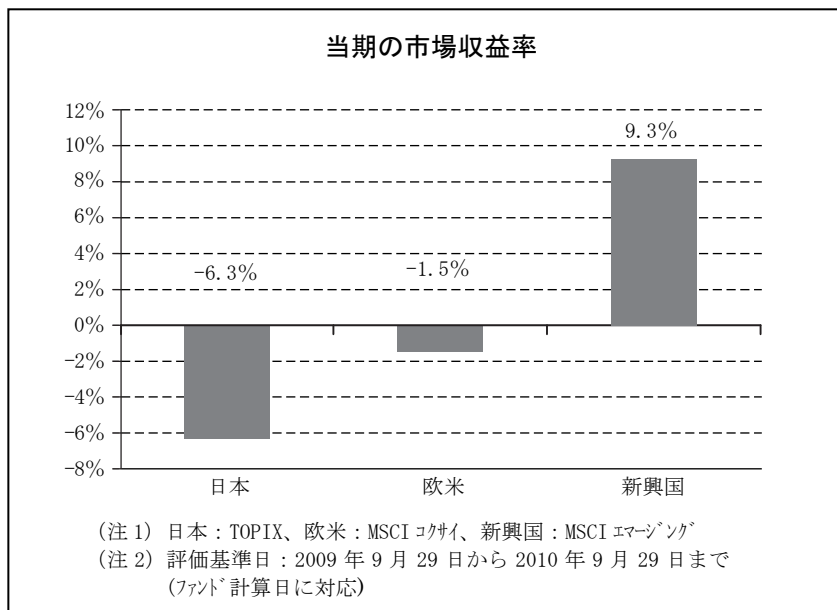
- ・・・東京市場 (TOPIX) : ▲6.3%、NY 市場 (SP500) : 円ベース 0.3% (ドルベース : 7.9%、ドル安 : ▲7.6%)

その要因としては次の通りです。

① 新興国市場の組入比率を高めにしてしたこと

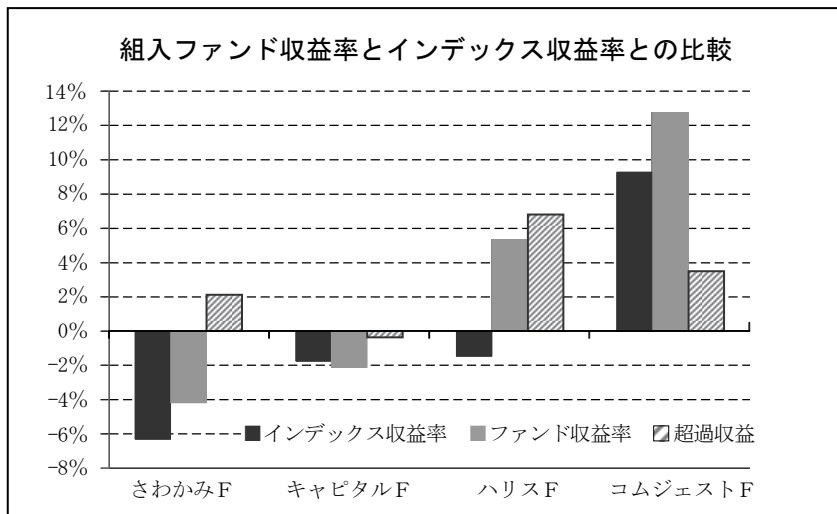
- ・・・期末現在の「目標投資比率」: 日本 20%、欧米 38%、エマージング 42% (図 1 参照)

新興国市場は一時的な下振れはありましたが、高成長を背景に高い株価上昇率となりました…新興国指数 (MSCI エマージング) : 9.3% (円ベース)。

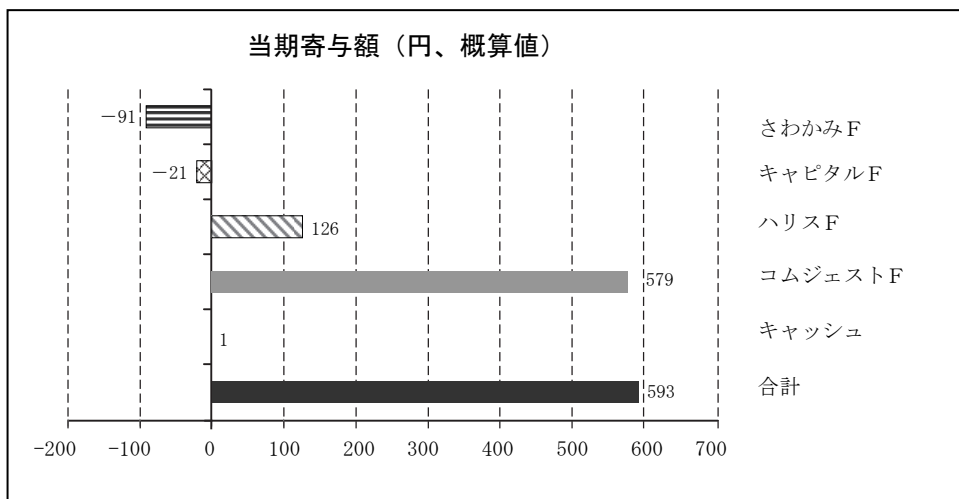


② 組入ファンドが高い実績をあげたこと

組入 4 ファンドの内、3 ファンドがそれぞれ各地域のインデックスよりも高い実績をあげ、ユニオンファンド全体に貢献しました。(表 1、図 2、図 3、図 4 を参照)



組入ファンド別の基準価額への当期寄与額は次のグラフの通りです。



③ 組入比率についてはやや柔軟に対応しました。

3月・4月の上昇局面では株価割高感から組入比率を「88%台」まで引き下げました。一方、その後の下落局面では割安ゾーンへとどいたと判断し「98%」程度の「フル運用」で臨みました。終盤でその効果が表れたと考えています。

(2009年11月の組入比率低下は大口資金流入によるものです)

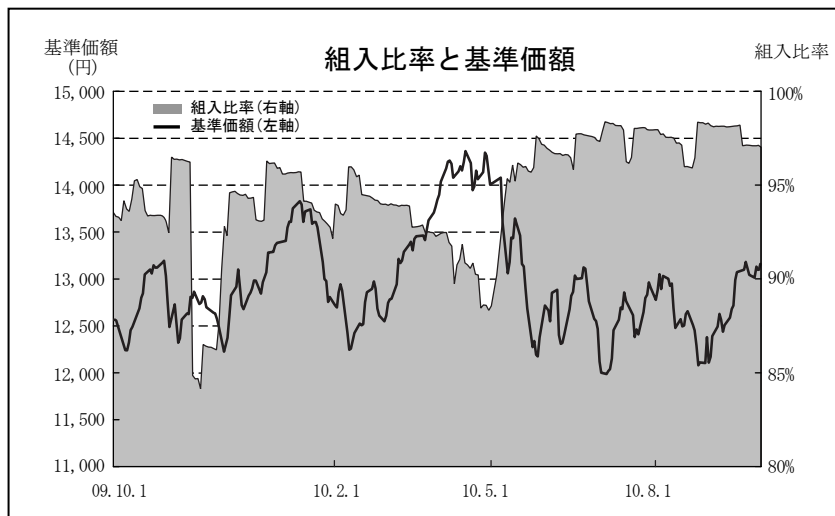
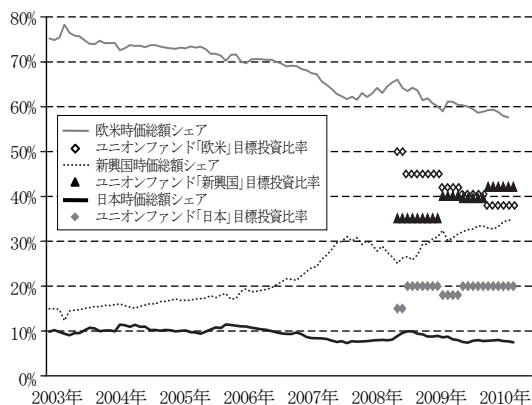


図1 世界の「時価総額シェア」とユニオンファンドの「目標投資比率」



(出所) 「時価総額シェア」: ユニオン投信株式会社調べ

表1 組入ファンドと組入比率 (2010年9月末現在)

	地域	組入比率	目標組入比率	目標比
さわかみF	日本	19.1%	20%	-0.9%
キャピタルF	欧米	17.3%	18%	-0.7%
ハリスF	欧米	19.4%	20%	-0.6%
コムジエストF	新興国	41.2%	42%	-0.8%
キャッシュ	-	3.0%	-	-
合計		100%	100%	

図2 組入ファンドの基準価額推移 (2008.10.20=10,000)

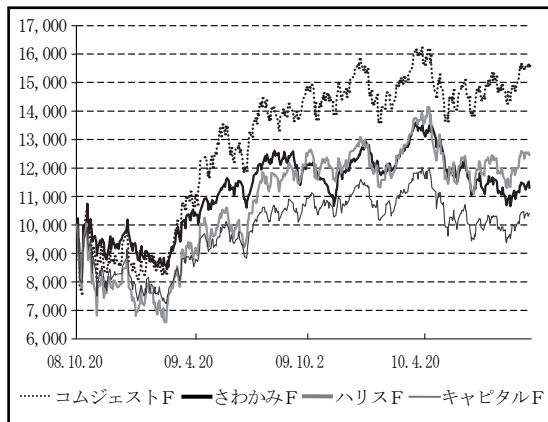


図3 組入ファンドの相対パフォーマンス(インデックスとの比較)

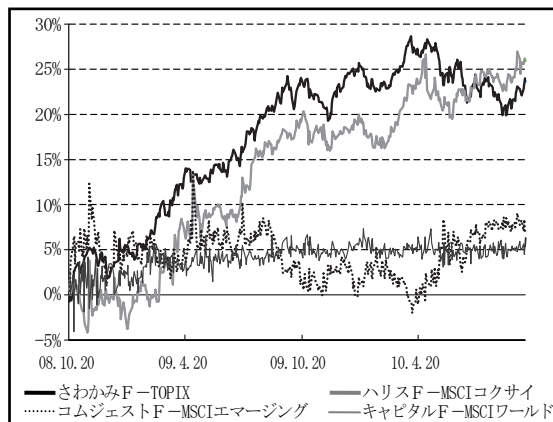
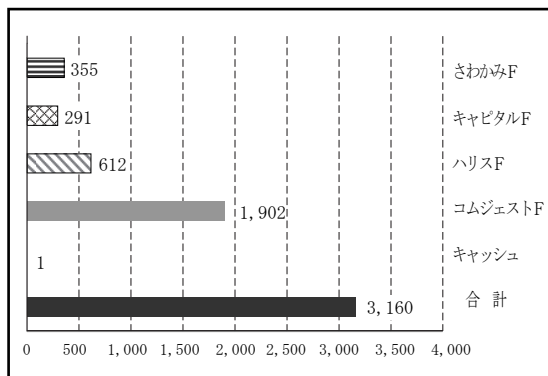


図4 組入ファンドの基準価額への累積寄与額(円)(概算値)



※¹キャピタルFは、CIF グローバル・エクイティ・ファンドクラス A の略称です。

※²ハリスFは、ALAMCO ハリス グローバル バリューストックファンド 2007 の略称です。

※³コムジェストFは、ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド SA の略称です。

■今後の運用方針について

次のような方針で臨みます。

- ① 引き続き「グローバル」な視点で投資していきます。
マクロ要因を的確に分析・予測し、世界各地域への投資配分を柔軟に変更・対応していきます。
- ② 当面、現在の組入れ 4 ファンドに投資していきますが、他の組入候補ファンドにも目配りを続けていきます。
- ③ 組入比率については、割高局面では引き下げる方針ですが、新興国の牽引などにより世界の経済成長はまだ上昇基調にあると思われますので当面は高めを維持していく方針です。

■分配金について

当ファンドの基準価額は決算日現在で 13,160 円（1 万口当り）でしたが、分配を行わないことが今後の安定的な運用につながると判断し、第 2 期は無分配とさせていただきます。

■直接販売状況

今期のお客様総数は 783 名（前期末比 +46%）となりました。その内“定期定額購入サービス”をご利用されているお客様は 535 名（前期末比 +52%、利用率 68%）です（…将来、特に老後生活に向けての“資産形成”を「ユニオンファンド」によって取り組まれている方々です）。

なかでも 30 歳と 40 歳の各年代の増加率は、それぞれ前期末比で 70%以上の増加を記録しました。これは今後の増税、社会保険料負担増大、賃金低迷、ゼロ金利継続等々によって個人家計が大変難しい時代に突入してきていることをお客様が実感され、“本格的な資産運用”に取り組み始めたからだと考えます。

また、未成年者の増加率も前期末比 +61%の高い伸びを記録しました。今の現役世代よりも将来の世代が一層厳しくなることを想定し、早い時点から“将来の生活防衛力を高めている”表れだと感じます。

“資産を殖やす”ことは一朝一夕で成し得るものではなく、必然的に“時間”が必要となります。「ユニオンファンド」では投資の時間が長く取れる未成年者には月額 3,000 円から積み立てが出来る仕組みになっている事も増加に繋がっている理由だと考えます。

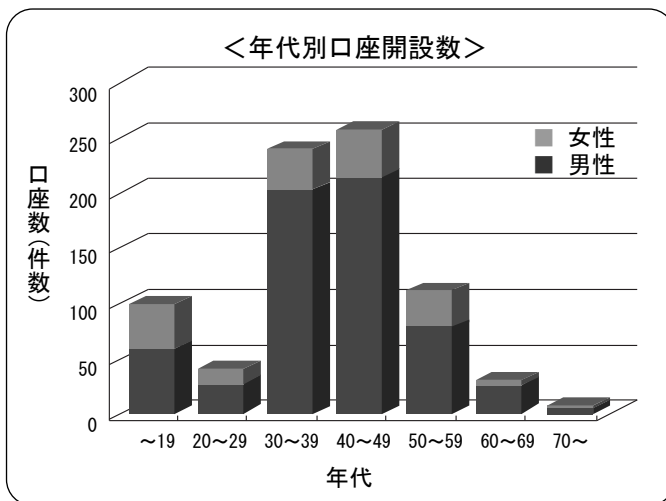
このように、お客様数およびファンドの純資産額は着実に増加していますが、その推移は急激なものではありません。

その理由として、一昨年9月のリーマン・ショック以降もその後遺症が続き、“ドバイ問題”“ギリシャ・ユーロ問題”“米国雇用低迷”などが表面化してきたことが挙げられます。その度に世界の株式市場は大きく下落しました。そして市場低迷を目の当たりにした個人投資家は“株式投資”から益々離れてしまい、“安全資産”と言われる“預貯金”や“国債”へシフトしてしまいました。

このような厳しい状況の中ですが、弊社は今後も「ユニオンファンド」を通じて、“投資による資産運用”の必要性、合理性を訴え続けて参ります。そのために、次のような行動を進めていく所存です。

- ① 「ユニオンファンド」の“運用成績”（基準価額の推移）は“お客様からの信頼”を得るには大変重要な要素ですので、これまで通り“揺るぎのない運用哲学”の基にしっかりとした運用を実践する。
- ② より多くの家計に「ユニオンファンド」が認知されるよう“セミナー”や“勉強会”を通じて一人でも多くの方々とお会いする。
- ③ 「月次レポート」等による“運用報告”はもちろん、“既存のお客様へのフォロー”を充実させるため、お客様のご希望による個人的な“資産運用セミナー”なども積極的に行い、弊社への“信頼感”“安心感”を高める努力を行う。

第3期は以上の三点を中心に活動し、“お客様数の増加”、“資産拡大”に取り組んで行く所存でございます。



■ 1万口（元本 10,000 円）当たりの費用明細（自 2009 年 10 月 1 日 至 2010 年 9 月 30 日）

項 目	金 額
(a) 信 託 報 酬 （ 投 信 会 社 ） （ 販 売 会 社 ） （ 受 託 銀 行 ）	109 円 (68) (37) (4)
(b) 保 管 費 用 等	—
合 計	109

（注 1）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、設定・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 保管費用等は目論見書等の法定資料作成交付にかかる費用および監査費用などです。

（注 2）各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 当期中の売買および取引の状況

● 投資信託受益証券・投資証券（自 2009 年 10 月 1 日 至 2010 年 9 月 30 日）

銘 柄	買 付		売 付	
	口 数	金 額 (円)	口 数	金 額 (円)
CIF グローバル・エクイティ・ ファンドクラス A	29,028	39,000,000	0	0
ニッポンコムジェスト・ エマージングマーケット・ ファンド SA	168,541,609	151,000,000	0	0
ALAMCO ハリス グローバル バリュー株ファンド 2007	121,452,447	80,000,000	0	0
さわかみファンド	74,812,790	91,000,000	0	0

（注）金額は受け渡し代金です。また単位未満は切り捨てです。

■ 利害関係人との取引状況（自 2009 年 10 月 1 日 至 2010 年 9 月 30 日）

期中における当ファンドにかかる利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは投資信託及び投資法人に関する法律第 11 条第 1 項に規定されている利害関係人です。

■ 第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

当期における自己取引はありません。

■ 自社による当ファンドの設定・解約状況（自 2009 年 10 月 1 日 至 2010 年 9 月 30 日）

期首残高 (元 本)	当期設定 元 本	当期解約 元 本	期末残高 元 本	取引の理由
千円 80,000	千円 -	千円 -	千円 80,000	当初設定時における取得。当ファンドの商品性を適正に維持するため。

■ 組入資産の明細

● ファンド・オブ・ファンズが組入れた投資対象ファンドの明細

投資資産 の種類	銘 柄	当 期 末 (2010 年 9 月 30 日)		
		口 数	評 価 額 (円)	組入比率 (%)
投資証券	CIF グローバル・エクイティ・ ファンドクラス A	112,809	150,149,590	17.3
投資信託 受益証券	ニッポンコムジェスト・ エマージングマーケット・ ファンド SA	374,627,368	356,720,179	41.2
	ALAMCO ハリス グローバル バリュース株ファンド 2007	248,005,596	168,098,192	19.4
	さわかみファンド	139,187,538	164,965,070	19.1
合計		761,933,311	839,933,031	97.0
銘柄数				4 銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。組入比率は四捨五入してあります。

(注2) 単位未満は切り捨てです。

■ 投資信託財産の構成

項 目	当 期 末 (2010 年 9 月 30 日)	
	評 価 額 (円)	比 率 (%)
投 資 信 託 受 益 証 券	689,783,441	79.7
投 資 証 券	150,149,590	17.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 、 そ の 他	29,375,468	3.0
投 資 信 託 財 産 総 額	869,308,499	100.00

(注) 金額の単位未満は切捨てです。比率は四捨五入してあります。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	当 期 末 (2010年9月30日現在)
(A) 資 産	869,308,499円
コール・ローン等	29,375,468
投資信託・投資証券(評価額)	839,933,031
(B) 負 債	3,543,388
未払信託報酬等	3,543,388
(C) 純資産総額(A-B)	865,765,111
元 本	657,858,968
次期繰越損益金	207,906,143
(D) 受益権総口数	657,858,968口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,160円

■損益の状況

項 目	当 期 自2009年10月 1日 至2010年 9月30日
(A) 配 当 等 収 益	19,403円
受 取 利 息	19,403
(B) 有価証券売買損益	29,633,159
売 買 益	29,633,159
(C) 信 託 報 酬 等	△5,887,555
(D) 当期損益金(A+B+C)	23,765,007
(E) 前期繰越損益金	92,720,254
(F) 追加信託差損益金	91,420,882
(配当等相当額)	68,327,146
(売買損益相当額)	23,093,736
(G) 計 (D+E+F)	207,906,143
(H) 収 益 分 配 金	0
次期繰越損益金(G+H)	207,906,143
追加信託差損益金	91,420,882
(配当等相当額)	68,327,146
(売買損益相当額)	23,093,736
繰 越 損 益 金	116,485,261

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記> (本書作成時点では監査未了です)

(参考資料)

■ 指定投資信託証券の運用内容

1 《CIF グローバル・エクイティ・ファンド (ルクセンブルグ籍円建外国法人)》 (半期決算日：2010年6月30日) 計算期間：2010年1月1日～6月30日

※当運用報告書作成日現在、公表されている決算報告書は2010年6月末の半期決算報告書であり、その報告書からの抜粋となります。

◇ 国別構成比率

As at 30 June 2010	%
United States	43.4
United Kingdom	13.6
Japan	11.5
France	7.4
Switzerland	5.9
Canada	4.0
Germany	3.5
Australia	3.3
Others	6.1
Cash & Equivalents	1.2

◇ 資産、負債、元本及び純資産の状況

As at 30 June 2010	
Assets	
Investments at market value	€ 874,382,258
Cash at bank	14,916,704
Dividend and interest receivable (net of withholding taxes)	1,136,409
Receivable for investments sold	2,188,184
Unrealised gain on forward foreign exchange contracts	987,485
Prepaid expenses and other receivables	515,102
Receivable for fund shares subscribed	14,324
Total assets	894,140,466
Liabilities	
Payable for fund shares redeemed	2,468,026
Payable for investments purchased	6,237,636
Accrued expenses and other payables	422,079
Management fee payable	233,260
Unrealised loss on hedged share class forward foreign exchange contracts	63,345
Total liabilities	9,424,346
Total net assets	€ 884,716,120
Investment at cost	€ 832,121,687

◇損益の状況

for the six months ended 30 June 2010

Income	
Dividend income (net of withholding taxes)	€ 10,948,294
Interest on bonds and convertible bonds (net of withholding taxes)	-
Interest on bank accounts and time deposits	2,593
	10,950,887
Expenses	
Management fees	1,475,110
Administrative Manager services	383,263
Professional services	194,370
Custody	90,596
Taxe d'abonnement	85,807
Printing and publishing	28,080
Other	38,165
Amortisation of organisation costs	-
	2,295,391
Reimbursement of expenses	60,953
Net investment income/(loss) (a)	8,716,449
Net realised gain/(loss) on:	
Sale of investments	18,331,589
Foreign currency transactions	4,378,768
Net realised profit/(loss) for the period (b)	22,710,357
Net change in unrealised appreciation/ (depreciation) on:	
Investments	20,486,307
Foreign currency transactions	(37,740)
Net change in unrealised appreciation/ (depreciation) for the period (C)	20,448,567
Result of operations for the period (a+b+c)	51,875,373
Dividend distribution	(325,269)
Net subscriptions/(redemptions) of shares for the period	(151,921,726)
Total net assets at the beginning of the period	985,087,742
Total net assets at the end of the period	€ 884,716,120

2 《ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA（適格機関投資家限定）》
第2期（決算日：2009年12月25日）計算期間：2008年12月26日～2009年12月25日

■1万口（元本10,000円）当たりの費用の明細

項 目	金 額
(a) 信 託 報 酬 （ 投 信 会 社 ） （ 販 売 会 社 ） （ 受 託 銀 行 ）	76 円 (45) (23) (8)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 （ 株 式 ）	24 (24)
(c) 有 価 証 券 取 引 税 （ 株 式 ）	4 (4)
(d) 保 管 費 用 等	39
合 計	143

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料、(c)有価証券取引税、(d)保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

■組入資産の明細

◎親投資信託残高（2009年12月25日現在）

項 目	当 期 末	
	口 数	評 価 額
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド	千口 1, 155, 424	千円 1, 077, 779

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

■損益の状況（自 2008 年 12 月 26 日 至 2009 年 12 月 25 日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	666円
受 取 利 息	666
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	401, 197, 416
売 買 益	421, 681, 421
売 買 損	△20, 484, 005
(C) 信 託 報 酬 等	△8, 271, 928
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	392, 926, 154
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△286, 873, 877
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△197, 347, 804
（ 配 当 等 相 当 額 ）	(4, 808, 070)
（ 売 買 損 益 相 当 額 ）	(△202, 155, 874)
(G) 計 (D+E+F)	△91, 295, 527
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (F+G)	△91, 295, 527
追 加 信 託 差 損 益 金	△197, 347, 804
（ 配 当 等 相 当 額 ）	(5, 022, 301)
（ 売 買 損 益 相 当 額 ）	(△202, 370, 105)
分 配 準 備 積 立 金	106, 052, 277
繰 越 損 益 金	—

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(12,409,402円)、費用控除後の有価証券等損益額(87,954,304円)、信託約款に規定する収益調整金(5,022,301円)および分配準備積立金(5,688,571円)より分配対象収益は111,074,578円(10,000口当たり950円)ですが、当期に分配した金額はありません。

■親投資信託（ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド）における組入状況（2009年12月25日現在）
組入上位10銘柄

順位	銘 柄 名	M S C I 業 種 分 類	国 名	組入比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR-ADR	情報技術	台湾	4.7%
2	MTN GROUP LTD	電気通信サービス	南アフリカ	4.3%
3	JBS SA	生活必需品	ブラジル	3.7%
4	ANGLOGOLD ASHANTI LTD	素材	南アフリカ	3.4%
5	COCA-COLA ICECEK URETIM	生活必需品	トルコ	3.3%
6	GOLD FIELDS LTD	素材	南アフリカ	3.2%
7	MOBILE TELESYSTEMS	電気通信サービス	ロシア	3.0%
8	TIM PARTICIPACOES SA	電気通信サービス	ブラジル	2.9%
9	HTC Corp	情報技術	台湾	2.9%
10	NATURA COSMETICOS SA	生活必需品	ブラジル	2.9%

(注) 国の別はコムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

業種別構成比率

MSCI業種分類	構成比率
生活必需品	21.5%
電気通信サービス	19.2%
情報技術	12.5%
素材	11.9%
一般消費財・サービス	11.0%
資本財・サービス	8.4%
金融	8.2%
ヘルスケア	2.8%
公益事業	2.1%
	97.7%

国別構成比率

国名	構成比率
ブラジル	15.9%
南アフリカ	15.5%
台湾	11.6%
インド	8.0%
メキシコ	7.3%
チリ	6.1%
トルコ	5.6%
ロシア	5.2%
中国	4.8%
香港	3.6%
イスラエル	2.8%
アメリカ	2.6%
ケニア	2.0%
インドネシア	1.9%
マレーシア	1.9%
韓国	1.6%
フィリピン	1.4%
	97.7%

(注) 国の別はコムジエスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

3 《ALAMCO ハリス グローバル バリュース株ファンド 2007（適格機関投資家専用）》

第3期（決算日：2010年3月9日） 計算期間：2009年3月10日～2010年3月9日

■1万口（元本10,000円）当たりの費用の明細（2009年3月10日～2010年3月9日）

項 目	金 額
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託銀行）	81円 (62) (14) (5)
(b) 売買委託手数料 （株 式）	6 (6)
(c) 有価証券取引税 （株 式）	6 (6)
(d) 保管費用等	4
合 計	97

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。(各項目ごとに円未満は四捨五入)なお、売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みません。

(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数。

(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数

(d) 保管費用等＝期中の保管費用等÷期中の平均受益権口数

■組入資産の明細

◎親投資信託残高（2010年3月9日現在）

種 類	期首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ALAMCO ハリス グローバル バリュース株 マザーファンド	千口 8,258,205	千口 15,699,006	千円 10,714,572

(注) 単位未満は切り捨て。

■損益の状況（自 2009 年 3 月 10 日 至 2010 年 3 月 9 日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 收 益	34,899円
受 取 利 息	34,899
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	2,803,179,535
売 買 益	2,803,179,535
売 買 損	—
(C) 信 託 報 酬 等	△74,959,482
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,728,254,952
(E) 前期繰越金損益金	△5,245,188,698
(F) 追加信託差損益金	△2,888,748,930
（配当等相当額）	(79,746,426)
（売買損益相当額）	(△2,968,495,356)
(G) 計 (D + E + F)	△5,405,682,676
(H) 収 益 分 配 金	0
次期繰越損益金(G+H)	△5,405,682,676
追加信託差損益金	△2,888,748,930
（配当等相当額）	(84,586,076)
（売買損益相当額）	(△2,973,335,006)
分配準備積立金	166,080,802
繰 越 損 益 金	△2,683,014,548

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(87,959,761円)、費用控除後の有価証券等損益額(－円)、信託約款に規定する収益調整金(84,586,076円)および分配準備積立金(78,121,041円)より分配対象収益は250,666,878円(1万口当たり154円)でありましたが、当期は分配を行いませんでした。

■ALAMCO ハリス グローバルバリュー株ファンド 2007 組入状況 (2010年3月9日現在)

組入上位10銘柄

順位	銘柄名	組入比率
1	INTEL CORP	5.9%
2	HEWLETT PACKARD CO	3.7%
3	CARNIVAL CORP	3.6%
4	JULIUS BAER GROUP	3.6%
5	BANK OF NEW YORK MELLON	3.6%
6	ALLIANZ SE	3.5%
7	SAP AG	3.2%
8	FRANKLIN RESOURCES	3.2%
9	CIE FINANCIERE RICHE	3.1%
10	DAIMLER AG-R	3.1%

順位	業種名	組入比率
1	各種金融	19.0%
2	半導体・半導体製造装置	10.8%
3	メディア	8.8%
4	資本財	7.8%
5	消費者サービス	6.5%
6	自動車・自動車部品	5.9%
7	食品・飲料・タバコ	5.7%
8	耐久消費財・アパレル	5.0%
9	商業・専門サービス	3.8%
10	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.7%

(注) 組入比率は純資産総額に対する比率、業種はGICS
(世界産業分類基準)に基づく24産業グループです。

4 《さわかみファンド》

第11期（決算日2010年8月23日）計算期間：2009年8月25日～2010年8月23日

■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用明細

項 目	金 額
(a) 信 託 報 酬 （ 投 信 会 社 ） （ 販 売 会 社 ） （ 受 託 銀 行 ）	131 円 (95) (23) (13)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 （ 株 式 ）	4 (4)
合 計	135

（注1）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数。

（注2）各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■組入資産の明細

株式組入上位10銘柄

順位	銘柄コード	銘柄名	業種名	組入比率 (%)
1	9104	商船三井	海運業	4.05
2	7203	トヨタ自動車	輸送用機器	3.46
3	7752	リコー	電気機器	3.15
4	6752	パナソニック	電気機器	2.99
5	5108	ブリヂストン	ゴム製品	2.94
6	7011	三菱重工業	機械	2.65
7	4452	花王	化学	2.40
8	3436	SUMCO	金属製品	1.99
9	3382	セブン&アイ・ホールディングス	小売業	1.99
10	1605	国際石油開発帝石	鉱業	1.89

（注）比率は8月24日現在における純資産総額比です。

■損益の状況（自 2009 年 8 月 25 日 至 2010 年 8 月 23 日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	3,195,058,976円
受 取 配 当 金	3,164,384,934
受 取 利 息	2,728,870
そ の 他 収 益 金	27,945,172
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△29,675,184,197
売 買 益	6,960,042,922
売 買 損	△36,635,227,119
(C) 信 託 報 酬 等	△2,409,072,791
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△28,889,198,012
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△21,512,537,037
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	75,336,881,964
(配 当 等 相 当 額)	(105,460,731,244)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△30,123,849,280)
(G) 合 計 (D+E+F)	24,935,146,915
(H) 収 益 分 配 金	—
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	24,935,146,915
追 加 信 託 差 損 益 金	75,336,881,964
(配 当 等 相 当 額)	(105,460,731,244)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△30,123,849,280)
分 配 準 備 積 立 金	47,501,379,599
繰 越 損 益 金	△97,903,114,648

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。